

標 題

出雲地域の稲WCS、更なる品質向上に向けて その2
～巡回講習会の開催～

(ダイジェスト)

J Aしまね出雲WCS協議会による稲WCSの品質向上に向けた取り組みの第2弾として、今年度から初めて巡回講習会を企画・開催しました。管内3地区のWCS用稲の大規模生産者を中心に12経営体に対して、特に早生品種の収穫・運搬・保管についての注意点と晩生品種の生育状況の確認を主な目的として取り組み、適期収穫・良品生産に向け、意識統一を行いました。

J Aしまね出雲WCS協議会による平成30年産の稲WCSの品質向上に向けた取り組みについては、普及情報№. 11でご紹介したところです。今年度は、初めての取り組みとして、生育中期の巡回講習会を企画し、開催しました。

7月9、11、17日の神西・佐田・平田地区における講習会では、WCS用稲の大規模生産者を中心に、12経営体の主要な圃場を巡回し、当普及部の畜産担当が早生品種の収穫から保管までの管理の注意点について説明し、次に農産担当から早生品種の落水時期や晩生品種の生育状況を確認しながら、生産者・関係機関と今後の管理について意識統一を行いました。

参加された生産者と落水時期の確認や今後の管理の予定等を情報交換できたこと、地区や生産者によって圃場の固さ、生育状況の違い等が確認できたことなど、有意義な講習会となりました。

当普及部としては、今後、早生品種を中心に、収穫前の稲の水分測定に併せ、スクイーズテスト*を生産者と一緒に取り組むこととしており、適期収穫に向けて支援していきます。

*スクイーズテスト；細断した原料草を90秒間力いっぱい握って水分率を予測する手法。



神西地区での生育状況確認



佐田地区での意見交換



平田地区での田面状況確認